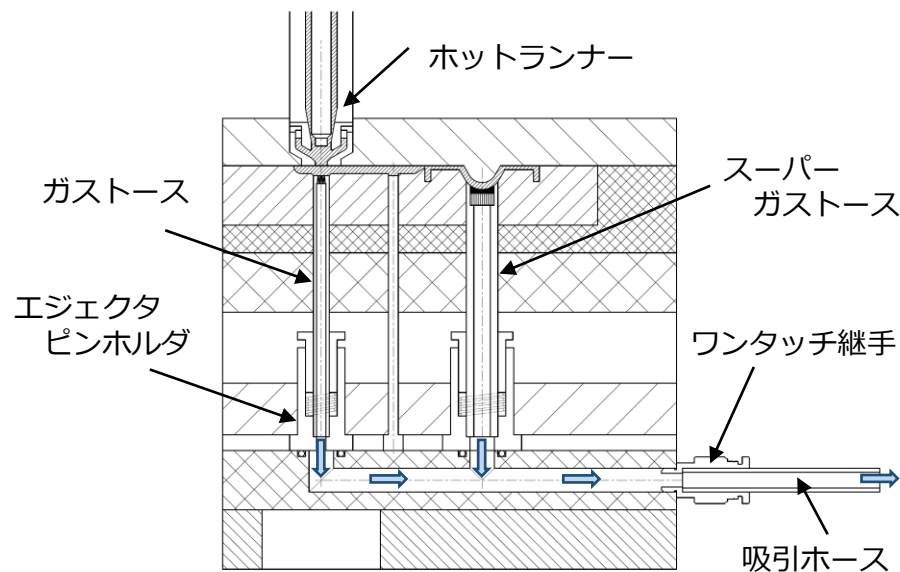
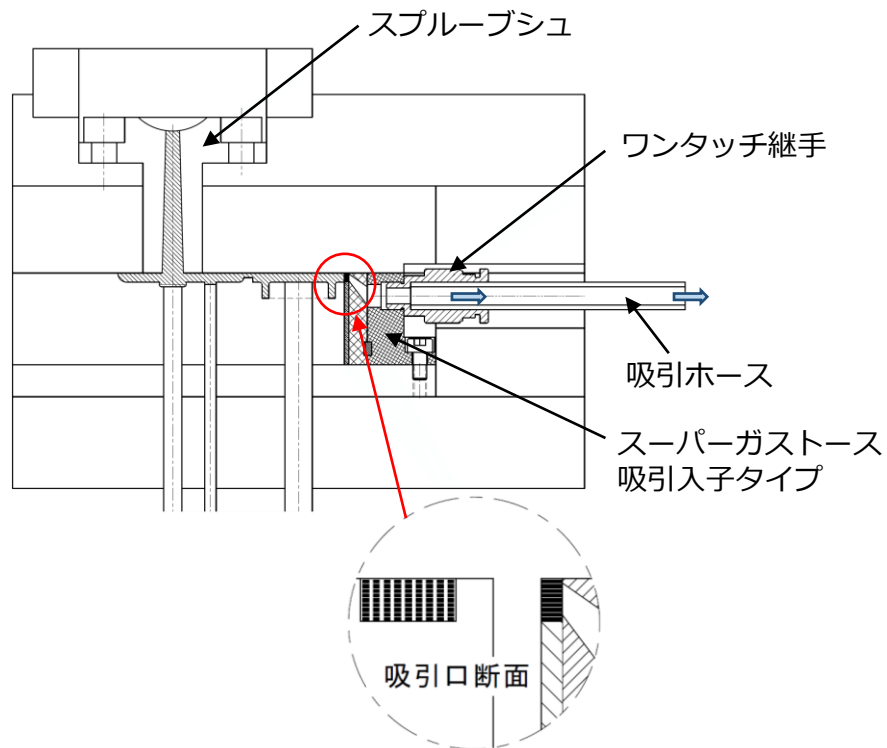


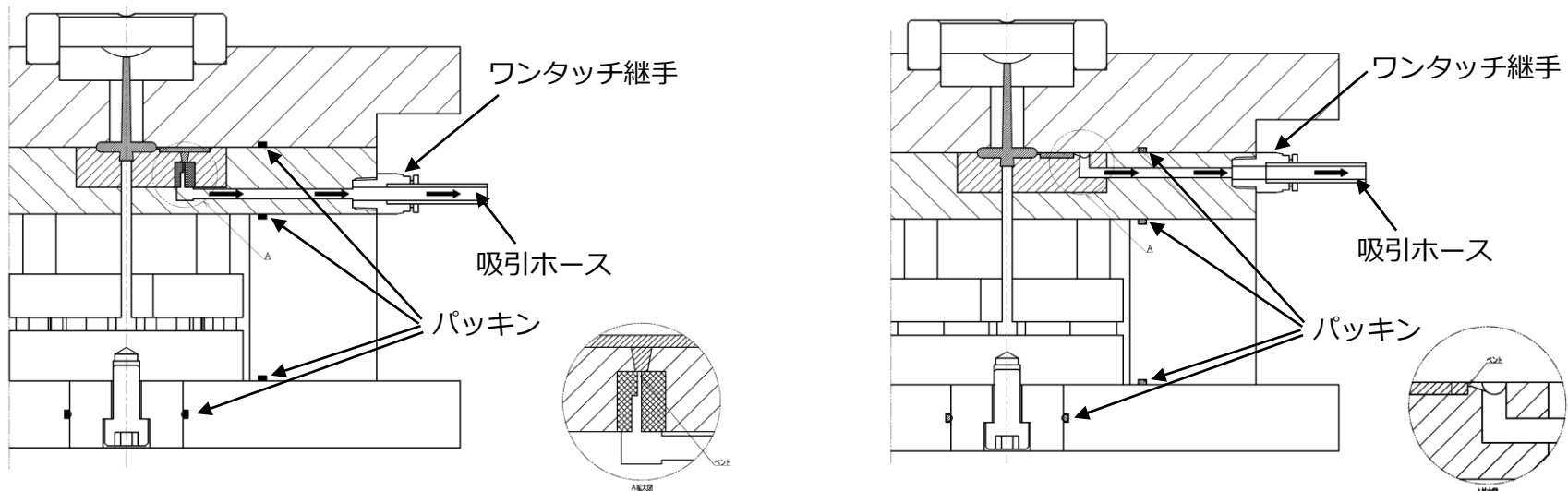
瞬間吸引金型と真空引き金型の違い

瞬間吸引成形



瞬間吸引金型	
金型構造	吸引力が圧倒的に強いので、従来の金型構造も簡単に出来ます
金型製作費	シール加工が不要なのでかなり安価になる
吸引口面積	吸引面積は製品の大きさに応じ自由に増やせる
吸引能力	制限なく対応可能
特徴	ガスを外部に出させることでメンテナンスにかかる時間が1/10以下まで減らせる

従来の真空引き金型



従来の真空引き金型	
金型構造	金型の外部から空気が入り込まないように完全にシール出来る構造にする
金型製作費	完全シール構造にすることで金型費は大幅に高くなる
吸引口面積	吸引口が一筋なので狭くなる
吸引能力	吸引口が狭いことで小さい製品に限定される
特徴	小物精密製品に限定される

瞬間吸引金型は

真空引き金型のような手間や複雑さはありません

「シール加工不要」、「吸引面積自由」で誰でも簡単に出来ます